

感染者の受け入れ病院の医師に聞きました



人との接触は極力避けて

日高病院副院長
呼吸器内科医
なるせ 成清 一郎さん

医療現場では、医師・看護師などみんなで新型コロナウイルスの対応に全力であっています。各メディアで報道されているように病床や人手には限りがあり、感染が広がり続けると対応できなくなる恐れがあります。

新型コロナは、感染者との会話で飛沫を浴びたり、ウイルスの付いた手で口や鼻などを触ったりして、体内にウイルスが入り込むことで感染します。感染しない・させないため、人との接触を避けることが何よりも重要です。不要不急の外出をしないのが一番ですが、やむを得ず外出するときはマスクを必ず着用してください。食事などでマスクを外すときは会話を控え、食事前やトイレの後などは、その都度手洗いや手指消毒を行うことが大切です。

皆さん一人一人が予防に取り組んでいただいで、一丸となって新型コロナに立ち向かいましょう。

発熱などの症状があるときは
まずはかかりつけ医に相談を

発熱や喉の痛み、せきなど気になる症状のある人は、かかりつけ医か近所の医療機関へ相談してください。対応できない場合は、診療できる医療機関を案内します。



かかりつけ医のない人やどこを受診したらいいかわからない人は、下記を参考に相談してください。

かかりつけ医がない
どこを受診したらいいかわからない場合

下記の窓口へ問い合わせてください。診療できる医療機関を案内します。

- 市受診・相談センター (☎ 381-6112)
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- 県受診・相談センター (☎ 0570-082-820)
月～金曜日 午後5時15分～翌午前8時30分
土・日曜日、祝日 24時間
- 発熱者外来予約専用電話 (☎ 381-6000)
土・日曜日、祝日 午前9時30分～正午



新型コロナウイルスのさらなる感染拡大に備えた医療体制づくり
受け入れ病床の確保と速やかな転院に支援

新型コロナウイルスの感染者が全国で増加しています。市は、感染者が安心して医療を受けられるよう体制を強化。医療機関と連携し、受け入れる病床を増やしたり、新型コロナからの回復者が速やかに転院して病床を空けられる仕組みづくりに支援したりします。今月号では、こうした市の取り組みなどについてお知らせします。

問い合わせは、保健医療総務課 (☎ 381-6111) へ。

市は、新型コロナウイルス感染者のさらなる増加に備え病床を確保するなど、安定した医療体制を整えます。

病床数を増やして
受け入れ体制を強化します

市は医療機関と連携し、新型コロナウイルス感染者を受け入れる病床のさらなる確保に取り組んでいます。市内では、入院の必要な感染者の受け入れを高崎総合医療セン

ターと日高病院が行っています。受け入れ可能な病床は現在合わせて約40床。1月25日時点の病床使用率は約63%です。

さらに感染が拡大すると病床のひっ迫が予想されます。市は、両病院合わせて17床程度の増床を要請し、最終的な調整を行っています。加えて、気圧を調節してウイルスが室外に出ることを防ぐ機能のある病室・陰圧室の設置費用も

補助する予定です。

回復した患者の転院を促し
病床使用率を改善

市は、新型コロナウイルス感染症から回復後、基礎疾患の治療やリハビリのために引き続き入院の必要な人が、速やかに転院できる仕組みづくりに支援します(3月議会承認後)。

病床使用率が上昇する要因の一つに、新型コロナからの回復後も、基礎疾患などで入院の必要な患者の転院先が見つからず、病床が空けられない

いことがあります。市は、こうした患者が速やかに転院できるようにするため、感染者を受け入れている病院に対して、転院の調整を行う職員の人件費を一部補助します。転院先の医療機関などに対しても、患者1人当たり最大30万円を補助。円滑な転院を促し、新型コロナ患者の受け入れ病床の使用率を改善します。

市ホームページ



新型コロナウイルスの
ワクチン接種の準備を進めています

問い合わせ先=保健予防課 (☎ 381-6112)

市は、国の方針に基づいて今後実施される、ワクチン接種の準備を進めています。現在予定されている接種開始時期は、次のとおりです。日程など詳しくは、決まり次第、広報高崎や市ホームページなどでお知らせします。

国の情報に基づく接種開始時期 (予定)

- 医療従事者=2月下旬
- 65歳以上の人=3月下旬～4月上旬
- 基礎疾患のある人や高齢者施設などの従事者=4月以降
- 上記以外の人=ワクチンの供給量などを踏まえ、順次

接種開始時期は変更になる場合があります